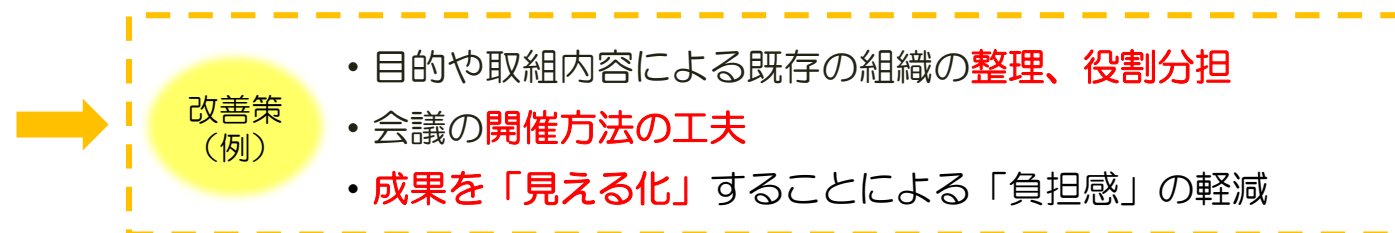


(3) 持続可能な組織づくり

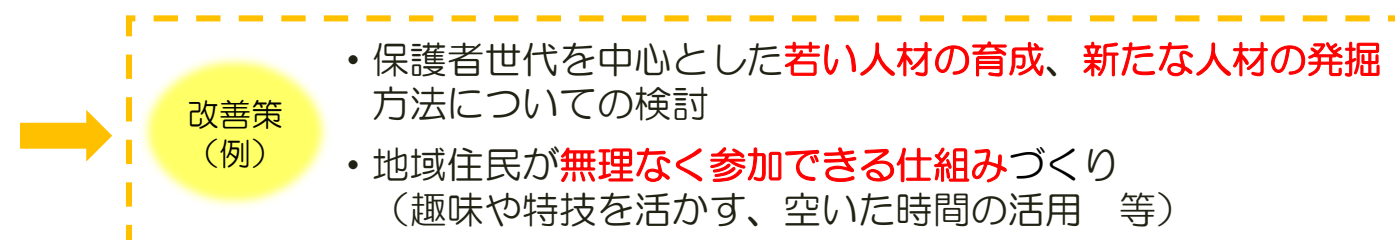
① 学校運営協議会委員や教員の負担軽減

学校や地域で行う会議の増加等による、地域住民や保護者、教員の負担軽減が必要



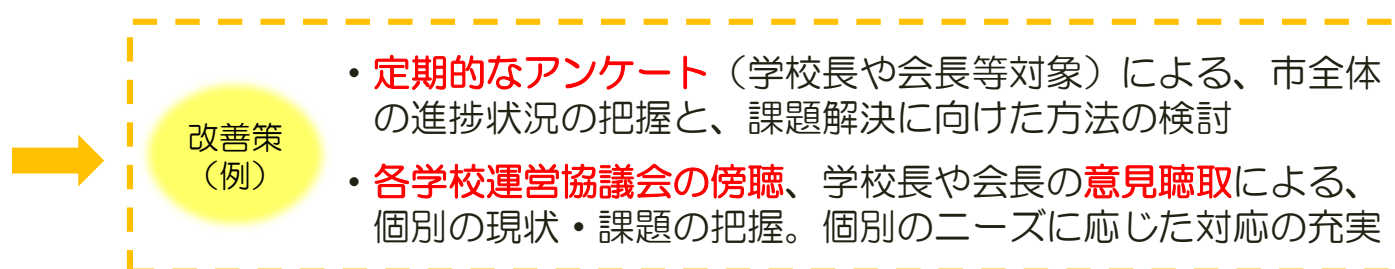
② 新たな人材の育成や確保

自治会やボランティア組織等の高齢化、一部の地域住民等に役職の負担がかかっている現状の克服



③ 学校運営協議会のニーズに応じた支援体制・連携体制の構築

実態把握に基づいた、支援体制の構築や連携方法の検討が必要



6 伊丹市教育委員会の取組

(1) 推進協議会の実施

- 「**推進協議会**」（年2回）

参加者 : 各会長、市教委
開催時期: 第1回: 8月～9月頃
第2回: 3月

- 「**拡大推進協議会**」（年1回）

参加者 : 各会長、管理職、市教委
開催時期: 5月頃



(2) 研修会の開催（6～7月頃）

(3) コミュニティ・スクールフォーラムの開催（2月頃）

(4) アンケート等による実態把握及び課題の検証

本件問い合わせ先
伊丹市教育委員会事務局学校指導課
Tel 072-780-3534 Fax 072-784-8083
e-mail gakkyo@itami.ed.jp

コミュニティ・スクールの充実

～学校運営協議会の活性化～

平成31年(2019年)1月

伊丹市教育委員会

1 コミュニティ・スクールについて

(1) 学校運営協議会の4つの機能

コミュニティ・スクールとは、「学校運営協議会」を設置している学校を指し、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第47条の6に基づく制度である。

- 校長が作成する学校運営の**基本方針を承認**すること
- 学校運営への**必要な支援に関する協議を行う**こと（H29.4地教行法改正により追加）
- **学校運営について**、教育委員会又は校長に**意見を述べる**ことができること
- **教職員の任用に関して**、**教育委員会で定める事項（※1）**について**意見を述べる**ことができること

※1 採用・昇任・転任について、個人を特定することはできない

(2) 学校評議員との違い

● 学校評議員

➡ 「**学校長の求めに応じて、個人として意見を述べる**ことができる」

校長のアドバイザー的役割、「学校支援」「十分に意見をもらっている」ととどまった、第三者的な連携

● 学校運営協議会

➡ 「**学校長の求めによらず、意見を述べる**ことができる**一定の権限を有する合議制の機関**」

- ① 学校の教育**目標・校長のビジョン**を共有する。
- ② 委員は、学校運営の**当事者**であり、その発言に責任を負う。
- ③ 「有事」の際には、課題の解決方法や保護者・地域への対応等を共に考え、決定する。

① 知る (情報共有)

子ども達、学校・地域のいいところは？ 課題は？

② 考える (熟議) ★

目標とする学校づくりや子ども達の育ちに向けて、何ができるだろう？

心を合わせて
地域の子どもを育む
コミュニティ・スクール

④ 振り返る (評価)

協働する楽しさ、喜び、手ごたえを分かち合おう！

③ 実現させる (協働) ★

共有した目標に向かって、役割分担や学校を核とした地域ネットワークでつながろう！

マネジメント★

校長のリーダーシップのもと、目指すべき**ビジョンの達成**に向かって、教職員全体がチームとして力を発揮し、地域の力を生かした学校運営を！

★ : 地域とともにある学校運営に欠かせない機能

2 平成30年度伊丹市のコミュニティ・スクールの現状

(1) 設置状況

設置年度	学校数(合計)	学校(全26校 小17、中8、高1)
平成27年度	4校(4)	【小】 神津小・花里小 【中】 東中・松崎中
平成28年度	6校(10)	【小】 伊丹小・南小・桜台小・荻野小 【中】 天王寺川中・荒牧中
平成29年度	7校(17)	【小】 天神川小・笹原小・摂陽小・鴻池小 【中】 北中・笹原中 【高】 伊丹高
平成30年度	7校(24)	【小】 稲野小・緑丘小・瑞穂小・有岡小・鈴原小・池尻小 【中】 西中
平成31年度	2校(26)	【小】 昆陽里小 【中】 南中

(2) 協議内容

※平成29年度末までに協議会を設置した学校

●小学校

(平成30年[2018年]11月末現在)

学校名	委員数	回数	協議内容・取組等
伊丹小	8人	3回	・学校課題についての協議(学力・ボランティアの人材確保)
南小	8人	2回	・登下校の安全確保について
神津小	11人	6回	・家庭での学習習慣・読書週間について
桜台小	8人	3回	・学力向上に向けた家庭との連携について
天神川小	8人	2回	・授業時数の確保、行事のあり方について
笹原小	15人	5回	・教員の業務改善、地域ができることについて 教員と委員の懇談会「学校と地域の連携について」
花里小	10人	7回	・家庭学習の効果を上げるために
摂陽小	11人	4回	・学校の課題把握にむけた見学、協議
荻野小	11人	2回	・学校運営協議会の方向性についての検討
鴻池小	9人	3回	・通学路の安全対策について ・卒業式の服装について

●中・高等学校

学校名	委員数	回数	協議内容・取組等
東中	8人	1回 +拡大	・拡大学校運営協議会(生徒会役員との討論会) ～18才で成人を迎えることについて～
北中	12人	2回	・学校運営協議会の効果的で持続可能な組織づくりについて
天王寺川中	7人	1回	・生徒の居場所づくり(不登校対策) ・生徒間トラブルについて
松崎中	11人	3回	・松中ブロック研修会「学校・地域・家庭が相互にできること」 ・学校運営協議会委員・教員合同研修会「松中のSWOT分析」
荒牧中	10人	2回	・給食視察・試食(教室にて) ・部会別協議(キャリア教育、食育、地域貢献)(主幹教諭も参加)
笹原中	14人	4回	・SNSについて ・地域が支援できること (実験、実習、進路(面接)指導における支援等)
伊丹高	13人	1回	・卒業後の進路と英語教育の取組について

4 コミュニティ・スクールの更なる充実に向けて

(1) コミュニティ・スクールの理解促進

- ・既存の組織とコミュニティ・スクールの違いがわかりにくい
- ・地域住民や保護者、教職員に、コミュニティ・スクールのねらいや、取組の内容について、**一層の周知**が必要



改善策
(例)

- ・市における**研修会や広報活動の充実**
- ・各協議会における広報紙の発行、HPでの**取組紹介**
- ・各学校や地域での説明会や研修会の開催
- ・教員と学校運営協議会委員が関わる**仕組みづくり**

(2) 各学校運営協議会における取組の更なる充実

- ・情報共有は十分できているが、熟議が深まらない(具体案の検討まで至らない)
- ・具体的な取組内容が決まらず、成果や達成感がない



改善策
(例)

- ・学校長からのより「わかりやすい」**具体的な情報提供**
- ・提案議題(課題等)についての校長と会長の事前打ち合わせ
- ・熟議による、**課題と取組内容の焦点化**
- ・ボランティア組織や地域・PTA等との連携方法や役割分担等、**具体的な方策についての協議**

<実践につながる協議の6ステップ>

Step1 知る

- ・子どもや学校の状況や課題について情報共有し、**現状を知る**。

Step2 しぼる

- ・「何をすべきか」「何ができるか」を考え、優先的・**重点的**に取り組む事項をしぼる。

Step3 深める

- ・実践事項の実現に向けて、「**どうしたらできるか**」という具体策について議論を**深める**。

Step4 つなぐ

- ・具体的な取組の実現に向けて、関係の**組織や団体をつなぐ**。また、その**連携方法や役割分担等について協議する**。

Step5 取り組む

各ボランティアの取組等

Step6 振り返る

- ・実践を終えた感想や成果・課題を振り返る。互いの努力や功績を認め合い、達成感を分かち合う。

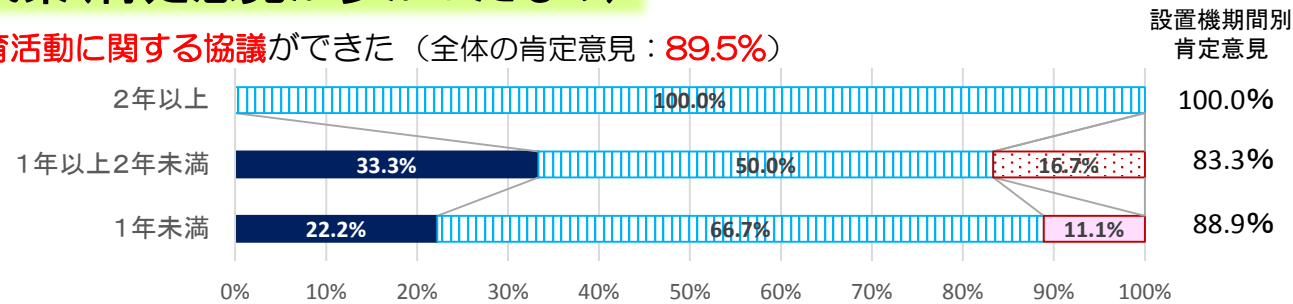
<会長アンケートより>

■ア とても思う □イ 思う □ウ あまり思わない □エ 思わない

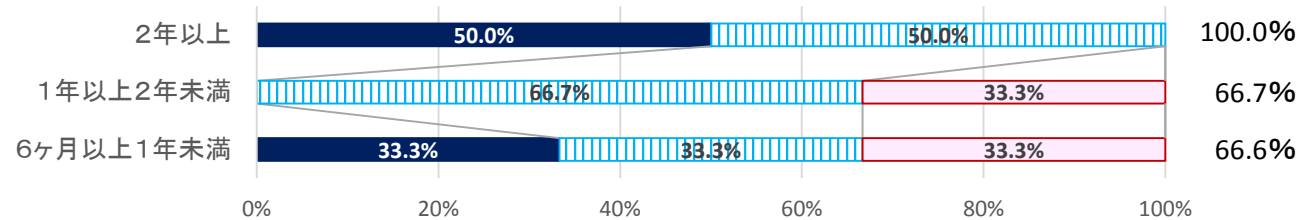
H30.10月実施、対象19校

(1) 成果(肯定意見が多かったもの)

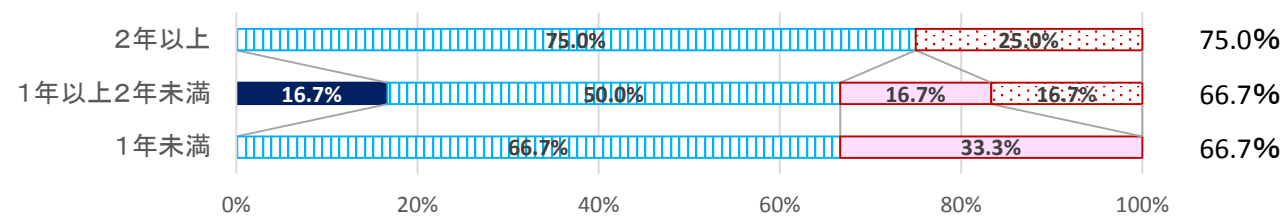
●教育活動に関する協議ができた (全体の肯定意見: 89.5%)



●学校運営や学校運営に必要な支援について十分な熟議ができた (全体の肯定意見: 70.0%)

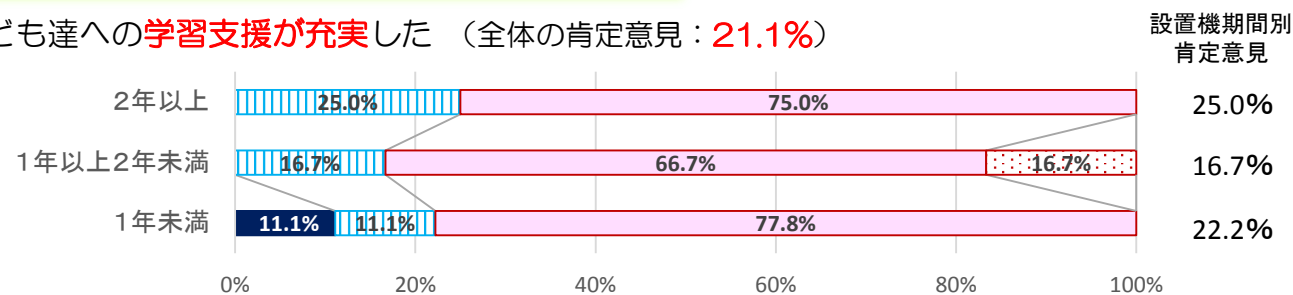


●地域と学校が情報共有するようになった (全体の肯定意見: 68.8%)

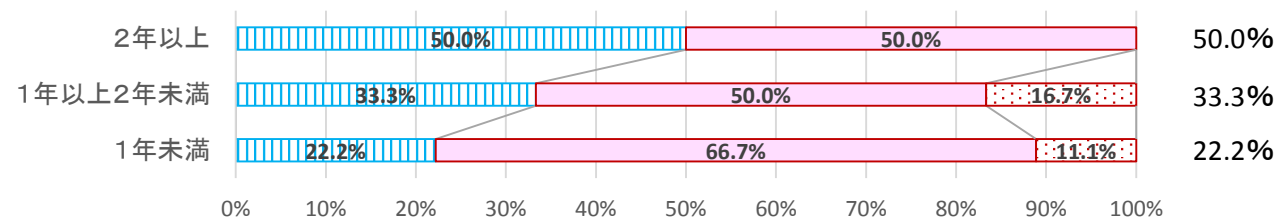


(2) 課題(肯定意見が少なかったもの)

●子ども達への学習支援が充実した (全体の肯定意見: 21.1%)



●教職員と話をする機会が増えた (全体の肯定意見: 31.6%)



課題と感じていること、今後必要だと考えること (自由記述欄から)

- 教員との連携
 - ・教員とのコミュニケーション、情報交換
- 人材確保
 - ・人材の確保 (学校運営協議会委員、事務) に携わる人材、支援に関わる人等)
- 組織の充実
 - ・学校運営協議会の組織体制、学校への支援体制の構築
- 組織間連携
 - ・中学校区の学校園、他の組織やPTAとの連携
- 情報発信
 - ・保護者、地域、教員への情報発信 (説明会や広報の方法の工夫)
 - ・保護者や地域に興味を持ってもらう仕組みづくり

(3) ある学校の学校運営協議会の様子



(4) 各学校運営協議会における工夫

<深める>

●理解を深める

- ・授業参観等の実施
- ・行事のビデオ等視聴
- ・学校長による学力、体力、QU等のデータの提示

●協議を深める

- ・テーマに基づいた「熟議」の実施
- ・研修会の実施、学識経験者からの助言

<つながる>

●教員と

- ・合同研修会における協議
- ・教員による、取組の報告
- ・懇談会、意見交換会の実施

●中学校区内で

- ・中学校ブロックでの研修会
- ・他校の協議会への委員の参加、相互交流
- ・「合同学校運営協議会」の実施にむけた検討

<知らせる>

●協議内容等の広報

- ・「学校運営協議会だより」等の作成、配布
- ・学校HPに「学校運営協議会のページ」を作成
- ・学校だよりへの掲載、配布
- ・説明会の実施

●委員の紹介

- ・PTA総会や職員会議での紹介
- ・HPにおける写真等の掲載

3 学校運営協議会の取組から見たもの

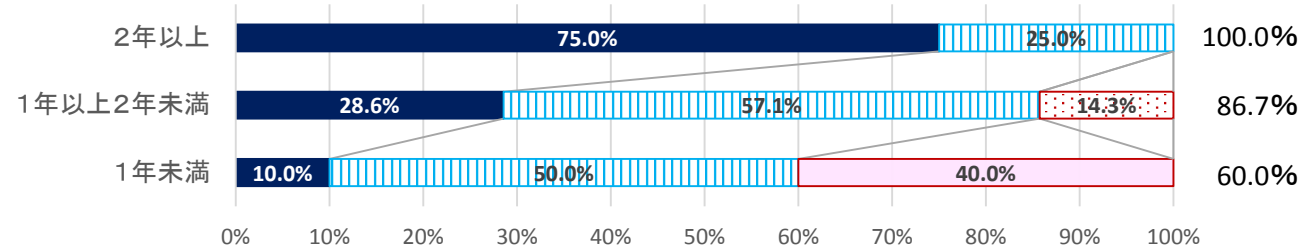
<校長アンケートより>

H30.12月実施、対象：21校

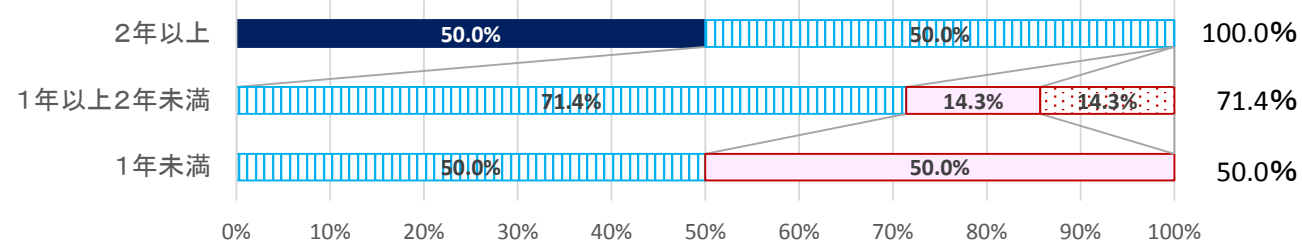
(1) 成果(肯定意見が多かったもの)

- 学校と地域が**情報を共有**するようになった (全体の肯定意見：76.2%)

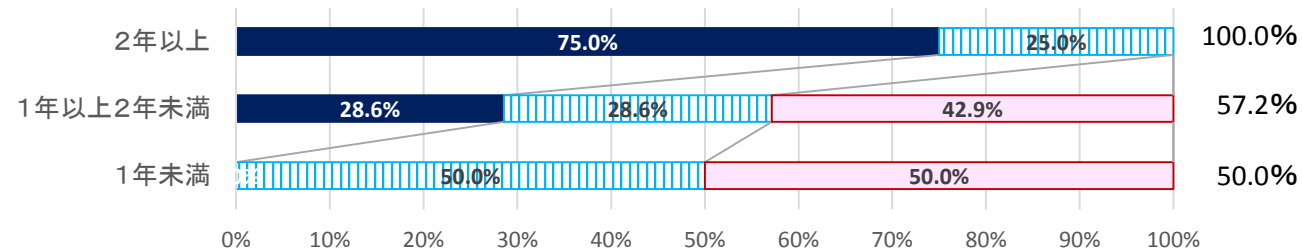
設置機期間別
肯定意見



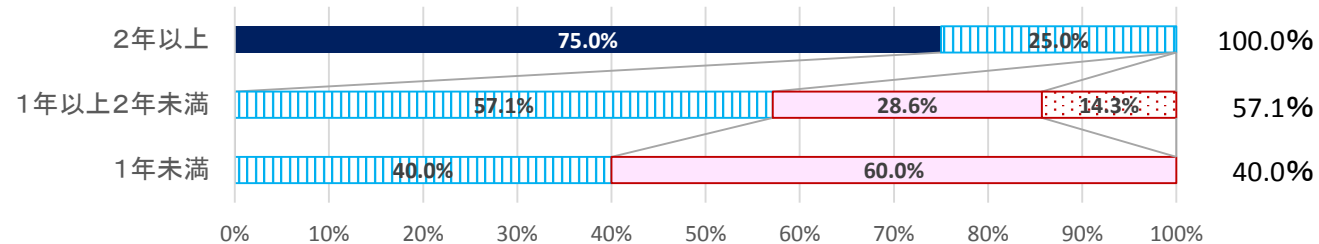
- 保護者・地域の学校への**協力・支援体制が充実**した (全体の肯定意見：66.7%)



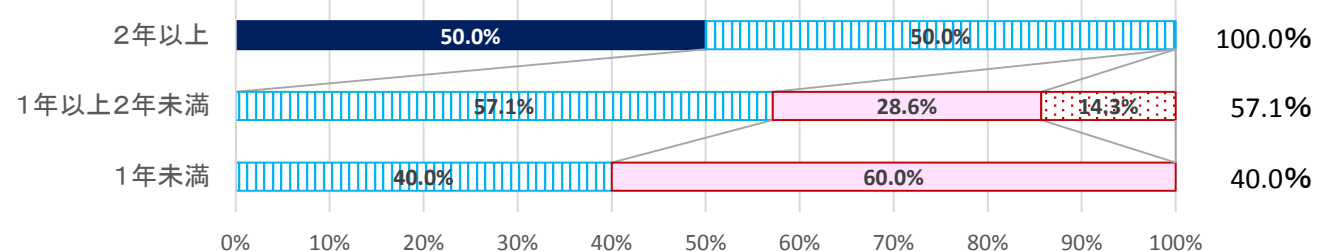
- 学校や学校運営に必要な支援等について**十分な協議**ができた (全体の肯定意見：61.9%)



- 学校に対する**保護者・地域の理解**が深まった (全体の肯定意見：57.1%)



- 学校と**保護者・地域の連携した取組**が行えるようになった (全体の肯定意見：57.1%)

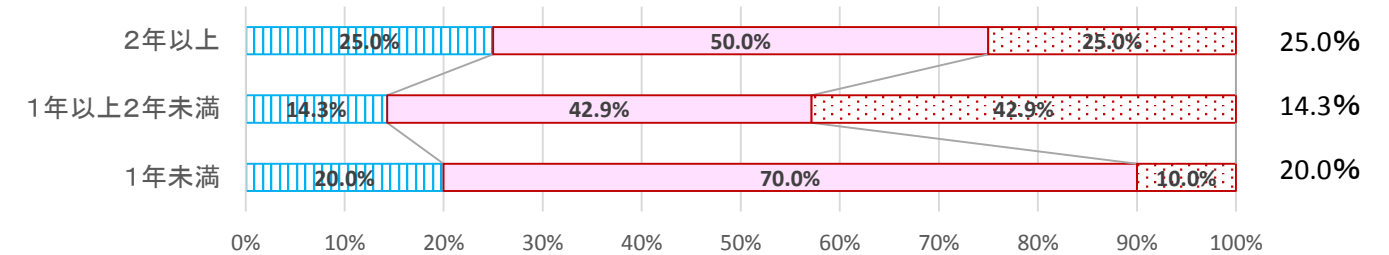


■ア とても思う □イ 思う □ウ あまり思わない □エ 思わない

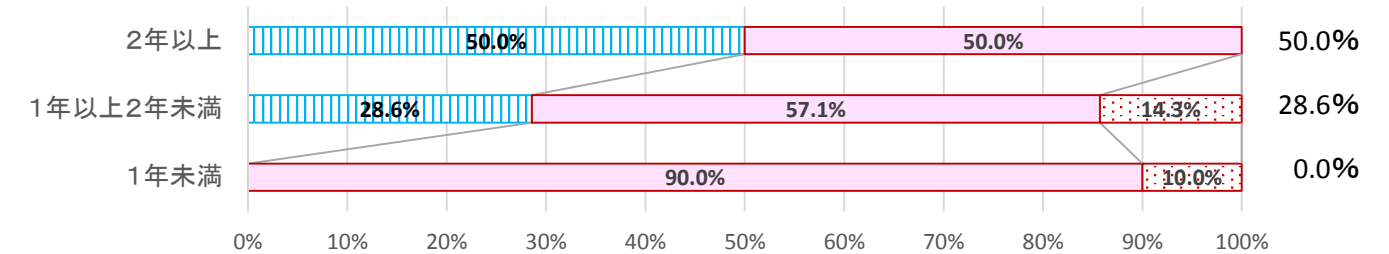
(2) 課題(肯定意見が少なかったもの)

- 教職員の**業務改善**につながった (全体の肯定意見：19.0%)

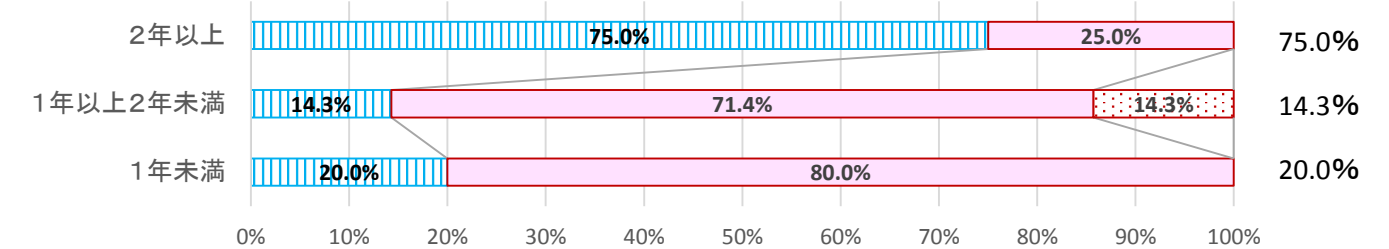
設置機期間別
肯定意見



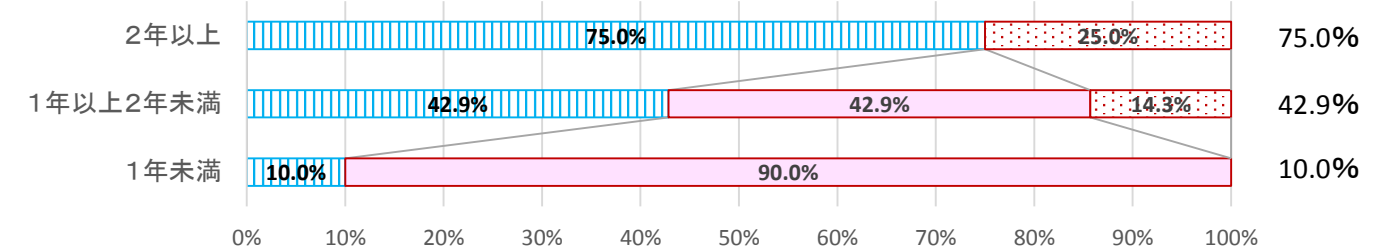
- 教育過程の改善・充実**が図られた (全体の肯定意見：19.0%)



- 教職員の**意識改革**が進んだ (全体の肯定意見：28.6%)



- 生徒(生活)指導面での課題解決**につながった (全体の肯定意見：33.3%)



課題と感じていること、今後必要だと考えること(自由記述欄から)

- 人材確保**
 - ・人材の確保(学校運営協議会委員、**事務**に携わる人材、会議等を**コーディネート**する人材)
- 負担軽減**
 - ・既存の地域組織等の**整理**、すみ分け、**役割分担**
 - ・経費の運用システムや事務の**繁雑さの解消**
 - ・教職員の**地域活動への参画方法**(「働き方改革」との兼ね合い)
 - ・既存の事業の**スクラップ**
- 会議の充実**
 - ・熟議、協議した内容を、学校支援等に生かしていく方策の検討
 - ・共に学校運営に参画するという意識改革(委員、教員)
- 組織連携**
 - ・既存の組織同士の**交流**や、中学校区の学校運営協議会での交流
- 情報発信**
 - ・学校運営協議会とは何かを伝えていくこと